

## 情報公開用文書 ( 附属市民総合医療センターで実施する医学系研究 )

( 多施設共同研究用 )

西暦 2021 年 2 月 17 日作成 第 1.0 版

<b>研究課題名</b>	神経変性疾患・神経免疫疾患新規バイオマーカーの開発
<b>研究の対象</b>	1992 年 1 月以降に、診療で血液・髄液検査を行った方を対象とします。 神経変性疾患 ( 筋委縮性側索硬化症、パーキンソン病、多系統萎縮症、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核症候群など )、神経免疫疾患 ( 多発性硬化症、視神経脊髄炎、自己免疫性脳炎など ) 及びその他の疾患等で検査を行った方が対象となります。
<b>研究目的 ・方法</b>	この研究では神経変性疾患や神経免疫疾患の患者さんの血液、髄液、尿中から、疾患の診断や治療のマーカーとなるような特異的な物質がないかを解析し、診断につながる変化がないかを検出することを目的としています。対象患者さんが尿検査や病理学的検査を行っている場合は、その検体も使用することがあります。
<b>研究期間</b>	西暦 年 月 日 ( 承認日 ) ~ 西暦 2026 年 12 月 31 日
<b>研究に用いる 試料・情報の 種類</b>	診療過程で患者さんが受けられた検査の残余検体を用いて解析を行います。用いる試料は血液、髄液、尿あるいは手術・生検でえられた病理検体等です。用いる情報は、病歴、治療歴、検査データ、画像データ等です。
<b>外部への 試料・情報の 提供</b>	研究代表機関である横浜市立大学附属病院 脳神経内科 ( 研究代表者 : 土井宏 ) へ、上記検体・情報を提供します。その際は当院で個人を特定できる情報を削除した上で行います。 研究代表機関に送られた検体、情報は少なくとも本研究の終了日から 5 年後又は本研究の結果の最終の公表について報告した日から 3 年後のいずれかの遅い日までの期間、研究代表者の管理のもと厳重に保管されますが、二次利用の可能性を考慮し、その後も期間を定めず保管します。廃棄する際は、情報については復元できない方法で、検体は院内の規定にそって廃棄します。
<b>外部からの 試料・情報の 取得と保管</b>	該当しません。
<b>研究組織</b>	研究代表 : 横浜市立大学附属病院 脳神経内科・脳卒中科 ( 責任者 ) 土井 宏 共同研究機関 : 横浜市立大学附属市民総合医療センター 脳神経内科

## 情報公開用文書 (附属市民総合医療センターで実施する医学系研究)

(多施設共同研究用)

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話でお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### 問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4 丁目 57

横浜市立大学附属市民総合医療センター 脳神経内科 (研究責任者) 上田 直久

電話番号：045-261-5656 (代表)